

十勝川中流部市民協働会議_活動記録 (20)

第1回 十勝川アシリチェブノミの開催

十勝川流域では、かつてアイヌ民族の方々が十勝川を遡上するサケを捕獲し、カムイ（神）に感謝をささげる儀式として「アシリチェブノミ」を行っていました。「十勝川アシリチェブノミ」は、サケの遡上を迎えるアイヌ民族の伝統儀式を復活させ、また継続させていこうという活動です。

この活動は、（公財）アイヌ民族文化財団と（公財）河川財団の河川基金の助成のもと、十勝川アシリチェブノミ開催実行委員会が主催し、池田町長や道内各地のアイヌ協会の皆様に参加頂きました。十勝川市民協働会議は、協賛者としてお手伝いをすることで、自然や川と長い間共存してきたアイヌの人たちの文化から「持続可能な川づくり」を学び、さらに川のアイヌ文化を発信し、広く理解を深めて行くことを目指し今後もこの活動を応援していきます。

- 日 時：平成30年10月20日（土） 10：00～13：30
- 場 所：北海道立 十勝エコロジーパーク
- イベントスケジュール：
 - 10：00 主催者挨拶
 - 10：10 カムイノミ：カムイ（神）へのお祈り儀式
 - 10：40 伝統舞踊（帯広カムイトウウポポ保存会）
 - 11：10 アイヌ料理試食会
 - 11：30 マレク漁体験
- 参加者：一般参加者 約80名、道内各アイヌ協会 25名、沿線自治体（池田町・音更町・幕別町）5名、十勝川中流部市民協働会議 15名

来賓の挨拶



池田町長 勝井勝丸様からの挨拶



新ひだかアイヌ協会会長 大川勝様からの挨拶

開催に当たり、来賓として、池田町長 勝井勝丸様からは「かつて行われていたアシリチェブノミ儀式の復活と千代田えん堤で行われていた“あきあじ祭り”の思い出について」、また、NPO 法人 新ひだかアイヌ協会会長の大川勝様からは「十勝の若い世代のアイヌの皆様が立派にこの儀式を行うようになり嬉しく思う」などの挨拶がありました。

カムイノミ (カムイ (神) へのお祈り儀式)

カムイノミでは、伝統衣装に身を包んだ参列者が、会場内に設置された祭壇前の炉を囲み、木製の祭具に酒を付けてカムイに捧げる儀式を厳かに行いました。



カムイノミが行われた祭壇



儀式の様子 (1)



儀式の様子 (2)



儀式の様子 (3)



儀式の様子 (4)



儀式の様子 (5)

帯広カムイトウウポポ保存会による伝統舞踊



伝統舞踊の様子 (1)



伝統舞踊の様子 (2)



伝統舞踊の様子 (3)



一般参加者も一緒に踊った伝統舞踊の様子 (4)



帯広カムイトウウポポ保存会の皆様



参加された道内の各アイヌ協会の皆様

マレク漁体験

マレク漁の体験は、“一般社団法人 十勝釧路管内さけ・ます増殖事業協会”のご厚意で購入できたサケ15尾を会場近くの園内水路に放流し、アイヌ伝統漁具「マレク」を使った漁を一般参加者の方々にも体験して頂きました。



園内水路に放流したサケ



漁具マレクを使い、サケを捕獲した様子



一般参加の子供たちによるマレク漁体験



アイヌ料理試食会

アイヌ料理試食会は、サケを使った料理を試食して頂きました。



サケの炭火焼き



サケ鍋料理

アイヌ料理試食会のほか、同じブース内にアイヌ民族の民芸品などの紹介の他、イモ団子やおしるこなどの提供も行われました。



アイヌ民族の民芸品などを展示販売したブース



アイヌ料理試食会の様子



アイヌ料理試食会の様子



その他の写真



アイヌ伝統舞踊を観覧する参加者たち



一般参加者も一緒に踊ったアイヌ伝統舞踊



音響設備（マイク・スピーカー含む）



試食会場の様子



緊急時に備え配置した AED